

つなげよう 子どもの学びと育ち

川西町立川西幼稚園 川西町立川西小学校

行ってみよう!

見ってみよう!

やってみよう!



校長先生がおオケマイマイを持って幼稚園にやって来た



お礼のお手紙を書いた



「粘土や折り紙で作って遊ぼう」

「オケマイマイの飼い方って・・・」



幼稚園に小学校の教員が訪問



小学校に幼稚園の教員が訪問



小学校のプールで楽しいひと時



1年生と5歳児の交流会



小学校の運動場で




小学校の給食室へ



1日体験入学

「やってみよう」が土台となり、「遊び」から「学び」へ



速く走れるようになりたいなあ...

誰か教えてほしいなあ...

興味・関心・疑問・探究心



校長先生にお手紙を書いてみよう!

「主体的な学び」から

幼稚園の枠を離れた違う社会、小学校での新たな学びの新鮮さ



「対話的な学び」につなげる

お兄ちゃん勝負しよう!!

人と交流する力

インタビューに来ました!!

話す力・聞く力・コミュニケーション力向上



校長先生にお手紙を配達します

教えてお兄ちゃん!

思いが実現する喜び

自分たちでできた!!


組織と人がつながるから 学びと育ちがつながる

組織と人をつなぐ

これまで例年通りに行ってきた1日体験入学や保幼小交流会等の取組を、子どもの学びや育ちをつなぐ視点から吟味し、深化させるためには、核となる組織が必要である。

定期的に各校種の管理職、担当教員、教育委員会が集まり話し合う場の設定をした。

- ・昨年度の反省
- ・教職員の交流や研修計画
- ・園児や児童の交流の目的や実施計画



担当教員だけではなく、教職員全体に広げていくための意識変革の筋道についても検討した。

教育委員会がコーディネート

川西町教育交流会(夏期休業中)


校種間の連携・協力体制をつくっていくために、まずは、幼稚園、小学校、中学校の教職員のつながりが大切となる。校種縦割りのグループでカレーとデザートを作り会食をした。その後、体育館でソフトバレーボール大会を実施し、教職員間に親しみと協働の意識が芽生えた。



交流会で親交を深める

川西幼稚園・小学校合同研修会(夏期休業中)

幼児教育と小学校教育の育ちをつなぐ幼小接続について、その意義や理論、各地の実践に学ぶため教育研究所の指導主事を招聘して研修会を実施した。



この研修会を通して、幼児期の学びが小学校教育へ円滑に移行できることの重要性を再認識した。

研修会で共通認識

【鈴木先生からのコメント】

ここでは、教育委員会が中心となり、積極的に教職員交流や研修、連携の実施を進めているところが素晴らしい点です。そこに校長先生自らがリーダーシップを発揮し、子どもたちと心の通った交流をされているのが印象的です。活動自体は子どもの主体性を大切に、対話的で深い学びができるように工夫されています。これからは、リーダーシップを分散して組織づくりをすることで、先生方お一人お一人が参画され、これまで以上に子どもたちが主体となるような連携が行われるのではないかと期待しています。

園小接続から教職員が変わる

吉野町立 よしのこども園・わかばこども園
吉野町立 吉野小学校・吉野北小学校

交流をもつ頻りに行き来することは難しい。就学する子どもたちが学校生活に適應できるようそれぞれの教育課程・指導計画の理解、接続カリキュラムの編成等の必要性を感じている。

小学校とこども園は、距離があり、交流は形式的なものにとどまり、成果を保育や教育に十分活用できていなかった。立地条件から交流回数を増やすこともできない。限られた交流の機会をより実りあるものにするために、交流の目的を明確にし、教職員間の事前・事後の打合せの時間を十分に取ることにした。



そこで、吉野町の子どもたちの笑顔あふれる園小接続を目指し、町内2園2小の全校園で、教職員間の交流を行い、取り組むことにした。

授業公開（5月）

入学して1か月…



はりきって学校生活を送る子どもたち



園長先生による絵本の読み聞かせ

読み聞かせに喜ぶ1年生

ひさしぶりだ！うれしいな。

☆子どもの様子

園長先生に手遊び歌と読み聞かせをしてもらった。4月から始まった小学校での慌ただしい生活の中で見せる頑張っている姿とは違う穏やかな表情であった。

小学生は、積極的に学習に取り組んでいるが、実態は少し無理をしている。その頑張りにきちんと寄り添えているか、振り返りの機会になった。

交流会（6、10月）



よろしくね！
名刺のプレゼント

回を重ねるごとに
お互いの距離が近づく



招待状
探検マップ

・小学校の秘密
・秋を楽しもう会
・園小それぞれの発表
・楽しく遊ぼう

☆子どもの様子

相手意識をもち、分かりやすく伝えるにはどうしたらいいのかという「伝える力」を伸ばすことができた。

日常の関わり方について、幼児期に身に付けている力を引き出し、自尊感情を高める関わりに変えていく必要性を考える機会となった。

訪問授業（12月）

授業体験（45分）



小学校の1日はね…

きりつ きをつけ
1年生みたい！

1年生のまねっこ 日直



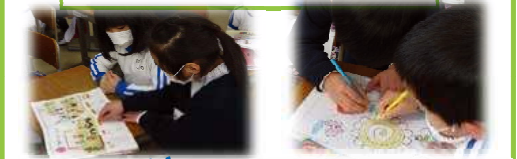
字をなぞって、1年生にお手紙を書こう！

☆子どもの様子

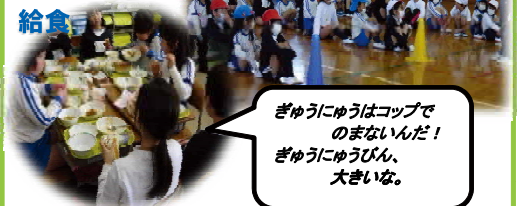
園児は小学校入学に対して強い期待をもっている。あこがれの姿に近づくことができ、緊張感をもちながら、集中して教員の話の間こうという意欲的な姿勢が見られた。

小学校入学までに育みたい力の付け方について再考する機会となった。また、スクール形式の授業形態で子どもの特性を把握することの重要性を感じ、連携の充実を図る手立てを考えることにした。

1日体験入学（2月）



1年生と
いっしょに
勉強・運動



給食

ぎゅうにゅうはコップで
のまないんだ！
ぎゅうにゅうびん、
大きいな。

☆子どもの様子

小学校への入学は、子どもだけでなく、保護者にとっても期待・不安が大きい。体験入学をすることで、どちらの不安も減ったように思われる。

子どもの不安を軽減するためには、まずは保護者の不安を軽減することが大切であることに気づき、保護者に対して今まで以上に積極的な声かけを行うことにした。

【取組の成果と課題】

○まずは教職員の交流！その後、交流活動ができるかを考える打合せの機会を増やす！
→ 教職員が気軽に連絡を取り合い相談できるようになった。
教職員に多くの気付きがあり、それを保育や教育に生かすことができた。

○町内の2園2小の教職員が集まり、交流のもち方について考えた。
→ 今年度は学習していることを写真で知らせたり、手紙のやり取りをしたり間接的な交流も実施。
園児は小学校について興味・関心がより高まった。
児童は相手意識をもった優しい対応ができるようになった。

○園全体、学校全体の教職員で幼小接続の情報の共有。

○園と小学校が離れていて、直接的な交流ができてにくい場合は、手紙・写真などで日頃のお互いの活動を間接的に交流することで、子どもたちもつながりを意識し、数少ない交流がものになる。

○園小接続の取組を保護者にも通信などで知らせる。園と小学校の教職員同士がつながっていると、保護者に安心感が生まれる。



【鈴木先生からのコメント】

学校・園がお互いに離れている環境にもかかわらず、町の子どもたちと一緒に育てていきたいという思いを共有しているところが良かったのではないのでしょうか。子ども同士が同じ場や時間を共有する機会が少なくとも、手紙や写真を送り合うことで、子どもたちの学ぶ意欲が繋がっているところがいいですね。園長先生が学校に来てくださったことで、どれだけ子どもたちが勇気付けられたのでしょうか。小学校の先生の訪問授業も、子どもたちの期待を膨らませますね。これからは町全体での取組を続けていってください。